

地域で育てよう たくましい土っ子に

勝山市立荒土小学校

1 取り組みの概要

(1) 地域や家庭と学校の連携実績

項目	回数
地域・学校協議会	3回
中学校区を単位とした協議会	0回
地域及び家庭への学校公開	11回 (のべ) 11日

(2) 地域人材の活用 (のべ人数)

講師・ゲストティーチャー	31人
授業ボランティア (含: 低ボラ)	17人
登下校支援ボランティア	
見守り隊	2, 200人
その他 (読み聞かせ)	
	48人

(3) 特色ある活動

テーマ「心の教育の充実」

具体的活動内容

『5年生 荒土町ふるさとづくり協議会との植樹・炭焼き体験』

① 活動計画と苗木育成

- ・ 6月1日(水) 5校時…荒土町ふるさとづくり協議会員2名が来校し、今年度の活動計画の説明を聞いた。その後、「くり」「とち」「みずなら」の苗木を一人一人が受け取り、植林するまでのおよそ1ヶ月間、苗木を育てることについて指導を受けた。

② 炭焼き窯補修体験活動

- ・ 6月30日(木) 5, 6校時…同協議会員の指導を受け、炭焼き窯の補修作業を体験した。



赤土と石灰を混ぜ合わせた土を使っての補修作業で、窯の天井部分を完成させた。

③ 植林体験活動

- ・ 7月13日(水) 5, 6校時…同協議会員数名の指導を受けながら、これまでに育ててきた苗木を本校区細野地区の山林に植林した。

今年度は、環境学習にも積極的に取り組んでいるので、このような植林の体験も、よい環境学習となった。このような取り組みは新聞でも報道され、児童や地域の励みもなっている。

2 成果と課題

本校では5年生が毎年、総合の時間に環境教育を兼ねて、地域の団体会員の指導を受けながら、炭焼きと植林の体験をしている。本年度は、炭焼き小屋が豪雨のために壊れ、炭焼き作業ができない関係で、窯の補修作業の体験となった。どちらにしても学校単独ではできない体験活動であり、環境面でもいろいろな物や事柄が循環していることを知る貴重な体験活動となった。

さらに、本年度初めて町の次世代育成委員会や町ふるさとづくり協議会との連携で、夏季休業中に校区内の川で自然や動植物の観察、川遊び体験が計画された。大雨の影響で実施されなかったが、さらに地域全体で子どもを育成していこうとする状況が出てきている。

今日的な課題として、児童の生活体験不足があるが、家庭や地域と連携していく中で、いろいろな体験活動を通して児童の心の育成を図っていく必要がある。児童の家庭内での役割分担や、小中連携とも関連づけ家庭学習の習慣化、あいさつ運動や人権に関わる指導など、新しい地域との連携を模索していきたい。併せて、昨今の社会情勢や経済状態ではなかなか難しい面はあるが、地域・学校協議会委員の役割や学校での協議会の持ち方等をさらに明確にしていきたい。

※A4版1～2枚程度で作成してください。